

平成30年6月18日

関係各位

四国ファシリティマネジメント協会  
会長 山下 幸男

ファシリティマネジメント講演会2018の開催について（ご案内）

平素は、四国ファシリティマネジメント協会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ファシリティマネジメント（FM）は、企業や団体にとって施設の最適化や経営効率のアップ、省エネルギー等の効果が期待できることから、厳しい財政状況にある地方自治体においても、地方創生の効果的な手法として注目され、高い関心を持って取り組まれております。

香川県では「香川県新ファシリティマネジメント推進計画」を策定し、「ファシリティ情報の一元化」、「県有資産の効率的な運用や長寿命化」、「維持管理経費の縮減」、「未利用地の処分・利活用の推進」、「安全な県有建物の維持」の5本柱の取組みを推進しています。

今年も香川県との共催で県内自治体、民間企業の担当者の皆様を対象とした「ファシリティマネジメント講演会2018」を別紙のとおり開催しますので、ご出席方よろしくお願ひ申し上げます。つきましては出席者名簿を事務局までファクス（又はメール）にてご提出くださいますよう併せてお願いいたします。

問い合わせ先

オフィスサポートセンター内

四国ファシリティマネジメント協会

事務局 三好

電話 087-825-5522

FAX 087-825-5941

メール info@s-fma.jp

(別紙)

## ファシリティマネジメント講演会2018

- 1 目的 ファシリティマネジメントの意義や具体的な取組みについて、理解を深める。
- 2 主催 香川県  
四国ファシリティマネジメント協会（SFMA）
- 3 後援 公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会（JFMA）  
一般社団法人日本建築学会四国支部香川支所
- 4 日時 平成30年7月24日（火） 14時～16時30分  
（開場13時30分）
- 5 場所 香川県社会福祉総合センター 1階 コミュニティーホール
- 6 対象 県内自治体の施設管理担当者  
県内民間企業の施設管理担当者  
建設会社、設計事務所、大学関係者 など
- 7 講演内容 ・「公共不動産（PRE）の再生およびファシリティマネジメント（FM）  
に関する国際的な議論と我が国における課題」  
講師 株式会社 松岡総合研究所 代表取締役 松岡 利昌氏  
  
・「公共施設等総合管理計画の策定とその後の取組（事例と実務）」  
講師 兵庫県伊丹市 総合政策部政策室施設マネジメント課 主査 升井 幸男氏

※講演の概要は別添のとおり。

※本講演会は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会（JFMA）認定ファシリティマネジャー資格更新講習B方式ポイント対象講座です。（1ポイント）

※本講演会は、建築CPD制度の認定プログラムです。（2単位）

オフィスサポートセンター内  
四国ファシリティマネジメント協会  
事務局 三好 行

**FAX 087-825-5941**

FAXにて返信ください  
回答期限7月10日(火)

ファシリティマネジメント講演会2018 出席者名簿

会社名 \_\_\_\_\_  
担当者 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_

所属名	職名	氏名	備考

※参加は無料です。

## 講演会の概要

### ■ 「公共不動産（PRE）の再生およびファシリティマネジメント（FM）に関する国際的な議論と我が国における課題」

株式会社松岡総合研究所 代表取締役 松岡 利昌氏

働き方改革は、日本だけの取組みではありません。世界の潮流として、ワークスタイルが劇的に変化しています。コワーキングやコリビングと言われる働き方は、新たなビジネスモデルとして確実に認識されつつあります。

ここでは、海外の公共不動産（PRE）の再生に向けた取組みとして、英国の先進事例を取り上げます。PPP、PFI の手法がさらに、進化しつつあり、日本にはない再生モデルが進んでいます。また、これらの事業スキームは、戦略的ファシリティマネジメント（FM）アウトソーシングの手法を利用しているため、FM の理解が必要となります。また、この FM 自体も国際化の波の中で、ISO41000s として、本年 2018 年より国際標準となり、認証制度が始まりました。この流れはますます加速していくでしょう。

さらに、英国では、ロンドンオリンピック（2016）の跡地の再生などにも、働き方改革の仕組みを組み込んだ、新たな PPP スキームが生まれています。2020 東京オリンピックのアフターオリンピックを考える上でも重要な手法だと考えられます。

日本の PRE 再生の課題検討として、公共施設等総合管理計画提出後の、具体的な戦略が求められています。集めたデータをどう利用するのか。産官学連携の新たな取組みが、時代の潮流とマッチした時にはじめて、PRE 再生の流れが進んでいくと考えられます。

### ■ 「公共施設等総合管理計画の策定とその後の取組（事例と実務）」

兵庫県伊丹市 総合政策部政策室施設マネジメント課 主査 升井 幸男氏

伊丹市では、平成 27 年 3 月に「伊丹市公共施設等総合管理計画」を、平成 28 年 2 月に「伊丹市公共施設再配置基本計画」を策定し、現在、個々の施設に関する機能統合や複合化に関する計画立案等を推進しています。

本講演では、本市の公共施設マネジメントの取り組み経過について概説するとともに、複合化や機能移転、民間活力の活用等に関する個別具体の取組事例について解説します。また、事業の進捗管理や推進に関して、担当者レベルでの実務的な取り組みについてもあわせて紹介します。